葛飾区歯科医師連盟

ＫＤＦかわら版

No.26

2026/8/7

発行：葛飾区歯科医師連盟　広報部会　　KATSUSHIKAKU DENTAL FEDERATION

https://www.katsushirenmei.com/

日本の歯科医師の将来について語る



監事　長谷川晶秀

私は、杉山会長と同時期に葛歯連盟の役員になりました。今日まで連盟役員を務められましたのは、諸先生方のご指導のおかげと感謝しております。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

さて、歯科医師の人口が２年前より減り出しましたが、これが良い方向に向かうのか、悪い方向に向かうのか、また、歯科医師連盟の役割について、ChatGPT（チャッピー）に聞いてみました。チャッピーは「日本の歯科医師の将来について」と題し次のように回答してきました。

以下チャッピーより

日本の歯科医療は少子高齢化や人口減少、歯科医師数の偏倚、医療技術の進歩などにより、大きな転換期を迎えている。今後は従来の治療中心の医療だけでなく、予防歯科、口腔機能管理、訪問歯科診療、多職種連携など、国民の健康寿命の延伸に貢献する歯科医療が、これまで以上に重要になる。一方で、患者数の減少や歯科医院間の競争激化など、現場を取り巻く環境は厳しさを増している。安心して地域医療に貢献できる環境を維持するためには、適切な診療報酬の確保や若手歯科医師が将来に希望を持てる制度づくりが不可欠。

歯科医師連盟は歯科医療に関する政策や診療報酬、歯科保健制度の充実を目指して政治活動を行う団体。今後もその役割は続くと考えられ、活動内容は時代に合わせて変化しても、現場の声を国の政策へ着実に届け、歯科医療の社会的価値をさらに高めるための活動に期待している。国民の健康を支える歯科医療が持続的に発展できるよう、未来を見据えた政策の推進を強くお願いする。

（ChatGPT：OpenAI　OpCo LLC）

なるほどと思いながら、ただひとつだけチャッピーに出てこないものがありました。それは「歯科医師連盟の組織率を高め、ひとつにまとまることが私たち歯科医師の前途を明るくすること」です。チャッピーに頼らずとも、歯科医院の淘汰、競争が起きないためには組織力と政治の力が必要なのではないかと私は思います。

今後も歯科医師連盟役員一同、歯科医師のために頑張って参ります。よろしくお願いいたします。

第８６回定期総会

令和８年６月 27 日（土）午後４時より、葛飾区歯科医師会館にて第８６回定期総会が開催され、冒頭の会長挨拶では、連盟の財政難について、また連盟への入会促進などについての話があり、今後の会員数減少を危惧する心構えが示された。



司会者一任より、議長は例年通り亀有支部の白橋知幸先生、議事録署名人は立石支部の塚本裕介先生、金町支部の泉伸吾先生が選出されました。

武藤専務の会務報告につづき、加藤評議員より第 143～146 回開催の都歯連盟評議員会報告、そして専務から３月に掲示した令和８年度事業計画、川本財務より令和８年度収支予算についての説明がありました。議案では、令和７年度収支決算について川本財務より内容説明があり、無事に承認をいただきました。

３期目の杉山執行部はあと１年、これまで通り会員の先生方にはご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（令和７年度収支決算書を２面に掲載）

令和７年度　葛飾区歯科医師連盟　収支決算書（確定）

自 令和7年4月1日　至 令和8年3月31日

令和8年3月31日

収入の部

科　目	7年度予算	7年度決算	比較増減	備　考
会費収入	1,506,000	1,512,000	6,000	１種 126 名 × 12,000 ２種 0 名 × 6,000
本部交付金 （都歯連盟）	418,500	412,500	-6,000	１種 124 名 × 3,000 ２種 1 名 × 1,500 前期終身 39 名 × 1,000
本部交付金 （日歯連盟）	339,250	335,800	-3,450	一般 144 名 × 2,300 14･2 4 名 × 1,150
その他の収入 （雑収入）	200,000	383,500	183,500	寄付金・交付金 （個人・政治団体）
その他の収入 （受取利息）	1,000	3,248	2,248	銀行預金利息
積立金	0	0	0	前年度までの積立金 （100万円未満）
当期収入合計 ①	2,464,750	2,647,048	182,298	
前期収支差額 （前期繰越額）	2,349,551	2,349,551	0	
収入合計	4,814,301	4,996,599	182,298	

支出の部

項	目	7年度予算	7年度決算	比較増減	備　考
経常経費	人件費	120,000	120,000	0	事務局相当費（事務協力費）
	事務所費	80,000	90,593	10,593	事務用品、通信費、［名刺代］ 為替手数料　等
	役員報酬	500,000	500,000	0	¥50,000×10名
組織活動費	行事費	20,000	24,000	4,000	決起大会・祝賀会の主催、協賛　等
	政治対策費	700,000	925,196	225,196	移動理事会、意見交換会、懇談会 視察・取材費
	組織対策費	340,000	401,000	61,000	理事会費、委員会費、総会費 費用弁償
	渉外費	200,000	183,000	-17,000	各種報告会・セミナー・集い 事務局季節の挨拶、団体祝金　等
	交際費	200,000	150,000	-50,000	城東地区連合会会費・負担金 上部団体等会合費、個人慶弔費
選挙関係費	推薦料	40,000	82,500	42,500	推薦状、必勝ビラ
	選挙対策費	1,000,000	1,200,000	200,000	選挙時の政治家への献金 （未使用分を次年度積立金へ）
	陣中見舞金	10,000	0	-10,000	事務所開き祝い　等
機関誌発行等事業費	出版事業費	300,000	266,900	-33,100	出版物関係費、執筆御礼
	ICT関係費	90,000	79,200	-10,800	ホームページ運営費
寄付・交付金	寄付金	1,000	0	-1,000	その他の団体への寄付金
	交付金	70,000	70,000	0	支部・会員への交付金
当期支出合計 ②		3,671,000	4,092,389	421,389	
当期収支差額 ①－②		-1,206,250	-1,445,341	-239,091	
予備費		1,143,301	400,000	-743,301	一定額を積立金として次年度編入
支出合計		4,814,301	4,492,389	-321,912	
収支差額 （次期繰越額）		0	504,210	504,210	

夏の移動理事会

７月 10 日午後７時 30 分より、亀有「須田」にて連盟移動理事会を開催した。第４回定例理事会を兼ねた本会は、厳しい暑さが予想される中、多くの来賓の方々をお迎えし、盛大に執り行われた。

移動理事会は、上部団体や行政、政界の先生方と直接意見交換ができる貴重な機会であり、連盟活動において重要な行事の一つである。

来賓として、国政から平沢勝栄衆議院議員、葛飾区から青木克徳区長、梅沢とよかず区議会議員、秋家さとあき区議会議員、筒井たかひさ区議会議員、秋本とよえ区議会議員のご臨席いただき、それぞれご挨拶を賜った。引き続き、ご出席いただいた東京都歯科医師連盟の石島弘己会長、公益社団法人葛飾区歯科医師会の古宮秀記会長、塚本裕介専務、葛飾区学校歯科医会の深瀬道法会長、泉伸吾専務のご挨拶の後、懇親会へと移った。

加藤秀之監事の乾杯をもって懇親会が開宴し、終始和やかな雰囲気の中で歓談が行われた。出席者は、日頃お世話になっている先生方や関係者との親睦を深めるとともに、歯科医療を取り巻く課題や地域医療の発展について活発な意見交換を行い、長谷川晶秀監事の閉会挨拶をもって午後 10 時に終了となった。

なお、来賓を除く出席者は、杉山征三会長、貝塚浩二副会長、佐藤裕介副会長、武藤功英専務、小林憲彦総務、川本晴喜財務、星谷透理事、熱田亙理事、加藤秀之監事、長谷川晶秀監事、髙橋文夫相談役、勝俣文良顧問、選対渉外委員から小島丈尚委員、上田和彦委員、小田憲委員、小泉王介委員、事務局から石川安彦様、石原明子様、柳生乃亜様であった。

来賓と役員相互の懇談により、今年の予算要望へ向けた事前協議としての本移動理事会は盛会のうちに閉会した。



古典的ながらも新たな地域課題

～移動理事会の会長挨拶より～

街の発展にはインフラ整備や区の事業の充実だけでなく、「医療環境の整備」と「区民の医療に対する心構え（意識向上）」が不可欠であると考えられる。連盟では議員各位の協力を得ながら歯科健診の啓発活動（リーフレット配布等）を継続してきた。区長をはじめ、代議士、都議会議員、区議会議員の皆さまには、日頃の葛飾区の政策推進、および区民の健康増進へのご尽力に深く感謝を申し上げたい。

葛飾区はその基本理念である「みんなでつくる、水と緑と人情が輝く暮らしやすいまち葛飾」の実現に向け、「住みよい街」「子育てしやすい街」づくりが進んでおり、特に、区長・区議会のご尽力による保育所の充実と「待機児童ゼロ」の達成は、共働き世帯にとって極めて恵まれた環境となっている。

子育て環境が充実する一方で、新たな課題（落とし穴）が生じている。それは現在、葛飾区の学童のむし歯罹患率は、諸島部を含め「東京都内で最下位（ワーストワン）」という深刻な問題である。背景として、海外からの移住者の増加、共働き世帯の増加に伴う多忙化があり、学校歯科健診で受診勧告（通知）を受けても、平日の通院時間を確保できず、家庭での健康管理が不十分にならざるを得ない構造的な問題が指摘される。

今後の対策として、学校歯科医会の深瀬会長に全面的に協力し、健診後の具体的なフォロー体制を構築することが急務であると考えている。その一環として、深瀬会長が推奨する学校現場における「フッ素洗口」の導入を葛飾区でも本格的に検討すべき時期に来ているのではないだろうか。

むし歯問題は古典的な課題でありながら、ライフスタイルの変化により現代の「新たな地域課題」となってしまった。子どもの歯の健康は葛飾区の未来そのものであり、葛飾区全体で一丸となってこの課題に取り組むよう区議会に強く協力を呼びかけていきたい。

会　務　報　告

４／　８（水）ＫＤＦかわら版　第２５号発行
４／１０（金）連盟 第１回定例理事会
４／１１（土）秋本とよえ新春区政報告会
４／１５（水）都連 第１回理事会
５／２２（金）連盟 第１回監査会
５／２２（金）連盟 第２回定例理事会
５／２７（水）都連 第２回理事会
５／２７（水）都連 第１回支部長・代表者会
５／２８（木）都連 第２回広報委員会
６／１０（水）都連 第３回理事会
６／１０（水）東京尚歯会（若手勉強会）
６／１２（金）連盟 第３回定例理事会
６／２３（火）都連 第１４６回評議員会
６／２４（水）三会会長専務会
６／２７（土）連盟 第８６回定期総会
７／　２（木）都連 第３回広報委員会
７／１０（金）連盟 第４回定例理事会／移動
７／１５（水）都連 第４回理事会
７／３０（木）城東ブロック代表者専務会
８／　７（金）ＫＤＦかわら版　第２６号発行



房総半島南端より伊豆大島を望む